

農業予算の編成方針は？



野口 昌作 議員

町長

国・県の事業を精査し進める



米価下落でこれからは

【野口】 農業を取り巻く情勢は非常に厳しく、米価の下落、特産のブロッコリー・白ねぎは価格低迷、後継者不足などの状況にある。強い農業を推進しなければならぬが、来年度の農業予算の編成方針と考え方は。

【町長】 担い手の育成確保、農畜産物・特産物の生産振興、多面的機能支払交付金事業の畑地帯への推進をする。水田のフル活用の推進、有害鳥獣駆除、6次産業化など国・県の

事業を精査し、施策を進める。

【野口】 平成27年度に特に考えることは。

【町長】 農業は一過性の事業ではない。継続して経営の安定化に向かう取り組みを考えたい。

【野口】 農業情勢も地方創生での取り組みでめまぐるしく変化すると思う。希望集落で座談会などする考えは。

【町長】 すでに希望集落や農業団体には出かけている。同じように取り組みたい。

不具合箇所 の 掌握方法は？

町長

巡回しそのつど修繕する

【野口】 道路の利用者は安全で快適な道路利用を望んでおり、行政はこれに応えなければならぬ。激しくバウンドする箇所、路肩に竹が生え、着雪したら竹が道路を覆ってしまふ状況、路面が大きくへこんでいる所、側溝が埋まっている所などがある。

行政は不具合箇所をどのように掌握しているか。

に入った先月から対応している。今後は橋やボックスなどを、特に注意して巡回したい。

【野口】 不具合箇所が修繕されないのは予算

が足りないからではないか。

【町長】 予算はそのつど補正し、修繕工事を行っている。

【町長】 町道375キロ、町管理の農林道51キロを管理している。道路はパトロールを行い状況把握し、不具合箇所はそのつど修繕している。竹は除雪体制



修繕された道路